

乙訓圏域障がい者自立支援協議会
令和5年度 第2回「医療的ケア」委員会 会議録

日時 令和5年8月31日(木) 13:30~14:30

場所 乙訓保健所 講堂

出席者 19名

第2乙訓ひまわり園、乙訓ひまわり園地域生活支援センター、向日市社協障がい者地域生活支援センター、乙訓ポニーの学校、乙訓障害者支援事業所連絡協議会、乙訓福祉会、乙訓医師会、京都府乙訓歯科医師会、京都府歯科衛生士会、京都済生会病院、乙訓訪問看護ステーション連絡会、京都府立向日が丘支援学校、乙訓の障害者福祉を進める連絡会(3)、乙訓保健所保健課、乙訓保健所福祉課、向日市障がい者支援課(1)、長岡京市障がい福祉課

欠席者 4名

キャンパス、乙訓の障害者福祉を進める連絡会(1)、向日市障がい者支援課(1)、大山崎町福祉課

事務局 3名

傍聴者 3名

配布資料

- ・次第
- ・(医)千春会 医療型短期入所「春風」の見学会と説明会 実施要項(案)
- ・令和5年度 第1回「医療的ケア児等コーディネーター交流会」(案)
- ・施設口腔ケア アンケートについて(案)
- ・新聞記事～医療的ケア児支援 「社会で支える」まだ道半ば～

会議概要

1 人材育成(3号研修の周知)について

- ・11月18日(土)、19日(日) 喀痰吸引等研修

委員 ・京都府にはこれから申請となる。11月18日(土)、19日(日)に3号研修を実施する予定で進めている。協力をお願いしたい。

・人材育成については昨年、向日市の保育所から9名の方が見学に来られた。感想を聞きたいと思っている。今年の5月には大山崎町の3つの公立保育所に説明に行かせていただいた。現場の職員に話を聞いていただき、少しずつ進めていけているようにと思っている。学童含めどういうところに3号研修の周知をするのか検討中である。

・資料として新聞記事を付けている。「医療的ケア児支援」という社説が大きく載っていた。まだまだ道半ばであることが書かれている。社説を元に3号研修をやっているという周知を進めていこうと思っている。意見があればいただきたい。

委員長 ・質問等はあるだろうか。

副委員長・幼稚園も行った方が良さだろうという話をしている。保育所には所長会があり、そちらに話を通してから行かせていただいた。幼稚園のルートを知っている方がいれば、情報等含めて教えていただければと思う。

2 医療型短期入所の利用に向けて

・10月3日(火) 13:30~15:00 医療型短期入所「春風」見学と説明会

委員長 ・ワーキングチームから報告をお願いしたい。

委員 ・医療型短期入所の利用に向けて、昨年度から千春会の「春風」で進めている。まだ、一般的な周知ができていないこともあり、見学と説明会を実施したいと思っている。「春風」と調整のうえ10月3日(火)13時半から実施する方向である。相談支援専門員を対象と考えている。昨年度モデルケースで進めた中で、介護保険と障害福祉サービスのギャップが壁となったということで、その辺りを利用の前に家族にどう伝えるのかという部分も含めて相談支援専門員に理解していただき、利用につなげていければと思います、今回主な対象を相談支援専門員としている。

事務局 ・現時点での申し込みは8名である。

委員 ・人数は20名前後を考えている。20名を超えてくるようであれば、調整のうえ第2回も考えていければと思っている。中身については実施要項(案)を見ていただければと思う。

委員長 ・何か質問等はあるだろうか。なければ次に行かせていただく。

3 周知活動(社協祭り)について

・11月5日(日) 大山崎町社協祭り

委員長 ・社協祭りについて、ワーキングチームから報告をお願いしたい。

事務局 ・できるだけ多くの方に医療的ケアについて関心を持っていただきたく進めている。

具体的には2市1町の社協祭りに参加させていただこうと思ひ、調整している。

長岡京市の社協祭りの主催がボランティア協会に代わり、どうなるのかわからない状況である。大山崎町社協には申し込む予定である。向日市社協祭りだが参加団体が多く、場所が取れなかった。1階に大きなフロアがあり、来場者が休憩場所として使うことになっている。そこに壁掛けのテレビが2つあり、それは使っても良いということで、大藪委員から動画の提供もあり、そこを使わせてもらうのか検討したいと思っている。ワーキングチームで医療的ケアに関するクイズを作る話をしていたので作っている。休憩場所のテーブルは使っても良いということなので、そこでできる限りの参加をさせてもらうのか、参加を見送るのか。9月にある2回目のワーキン

グチームで決めていこうと思っている。

・内容については当事者に来ていただき、来場者とふれ合い、接点を持ってもらうことと、喀痰吸引のシミュレーター体験を考えている。大藪委員から提供してもらった動画の上映、医療的ケアに関するクイズ等をワーキングチームでは話し合っている。

副委員長・シミュレーター体験に協力いただける方がいれば、協力をお願いしたい。

委員長 ・経験のある方にぜひお願いしたいと思う。

4 医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者のフォローアップ交流会について

・11月7日(火) 13:30~15:30 第1回フォローアップ交流会

・令和6年2月15日(木) 13:30~15:30 第2回フォローアップ交流会

委員 ・医療的ケア児等コーディネーターは国の施策として、それぞれの地域で医療的ケアが必要な子どもや大人の方の支援に関わり、保健、医療、福祉、保育、学校等様々な分野と連携体制をとりながら支援を進めていく必要があり、その支援を地域でコーディネーターとして連絡等協力を役割として、そういった人材を都道府県単位で育成していくことが行われている。医療的ケア児支援法とも関係している。地域の医療的ケア児等の支援体制整備事業の一環でもある。京都府でも取組が進んでいる。年に1回、医療的ケア児等コーディネーター養成研修が開催されている。乙訓では相談支援専門職員が中心となるが訪問看護の方や行政の担当者が受講されており、おおむね25名の方が修了されている。コーディネーターそのものは国ではコーディネーターの養成と配置を言っている。研修を修了した医療的ケア児等コーディネーター修了者達が実際にコーディネーターとしてどういう形で、どういう機関に配置されるのかはまだ明確になっていない。基本的には相談支援等で研修を修了し、医療的ケアに関わる方の支援について対応ができることをそれぞれの事業所のホームページ等でお知らせし、その中で役割を担うという位置付けに今のところはなっている。日々の支援の中で行き詰まり、困った時に相談ができ、フォローできる状況は難しく、コーディネーター研修修了者達の中で情報交換や困りごと、日頃の悩み等を話し合う場があった方が良いということで、一昨年度から医療的ケア児等コーディネーター交流会を持っている。昨年度は2回実施し、事例を出してもらい、検討することで、この地域の社会資源の状況や日々の支援の中での課題等を話し合う形で進めてきている。乳幼児から就学児、主に子どもの事例を取り上げて行った。今年度は引き続き、年齢層をあげていきながら学校から卒業、地域で生活されている大人の方の事例を出してもらう予定になっている。1回目が11月7日(火)、2回目が2月15日(木)で予定している。京都府医療的ケア児等支援センターの方にも必ず参加していただいている。京都府の取組の状況報告や、スーパーバイザー的な形で入っていただいている。今回も参加していただく予定である。

副委員長・資料として付けている「医療的ケア児等コーディネーター交流会」(案)の内容で進めさせていただきたいと思う。次回のワーキングチームは9月11日(月)に予定している。

5 施設口腔ケアについて

事務局 ・ 昨年までの経過として京都府の地域療育等支援事業を利用した施設での支援者による口腔ケアの実施、指導、相談について、その必要性や重要性についてこの委員会で確認をしてきた。この事業がなくなるかもしれないという話があがっていたので、実際になくなった時にどうするのかを「医療的ケア」委員会の中で話をする場を持ったが、協議を深めるまでには至らなかったため、今年度からワーキングチームを立ち上げている。1回目のワーキングチームでは地域療育支援事業がなくなった時に、この圏域で何が提供できるのかというところからスタートした。地域療育等支援事業を利用している施設に限って話をしていたが、そこに限った話ではなく乙訓の施設全体に対して話ができなければ良いという話があった。歯科検診や口腔ケアというところの中身の提案をしていければ、施設側も考えやすいのではという意見が出ていた。乙訓歯科医師会とも連携しながら、できること、できないことの整理と口腔ケアに関する研修会等の提供や本人、家族の費用的な負担も研究できれば等の話も出ていた。その中でアンケート（乙訓圏域障がい者施設における歯科検診と口腔ケアの取り組みについて）を行えたらという話で、案を作っていた。

委員 ・ 歯科検診と口腔ケアということで、健診については歯科医師が行くことになるので一定費用がどうしてもかかってしまう。学校歯科と同じ枠組みで、歯科医師会の中で担当を決めて行っている施設もあると認識している。全部の施設をカバーできているわけでもなさそうなので、その辺がどうなっているのか。口腔ケアが歯科検診に紐づけされれば良いが、口腔ケアとなると何ヶ月に1回行くという話ではなく、歯科衛生士も自院から派遣して毎週ケアしに行くというものなかなか難しく現実的ではない。歯科医師会にこの話をしても、これをカバーするのは難しいように思う。だけど、なくなって良いものなのか。施設の方の熱量や全体像も知りたいので、アンケートを作り、聞いてみたいという提案をさせていただいた。必要だが金銭的なところで難しい話になり、必要性をわかっているところでも現実性のところで折り合いがつかないのかと思っている。まずはアンケートから全体の実状を知り、必要性を投げかければと思っている。

委員 ・ 地域療育等支援事業の継続が難しく、口腔ケアができなくなるところからこの問題をピックアップしてもらい、検討する場ができた。地域療育等支援事業の中で口腔ケアを行うことから一度離れて、地域の中で口腔ケアが必要とされている方がどれだけいて、どれだけ施設の方の意識があるのかというところに立ち戻り、その中で必要性が見えてきた時点で、どういう資源を使っていくかというところに立ち戻ること、今回のアンケートをもとに地域で一度意識を確認することが狙いである。その後、口腔ケアをどうするのか少しずつ考えていけたらと思っている。よろしくお願ひしたい。

・ アンケートの対象者はどうするのか。障がい者という括りからすると幅広くなる。
どの辺りにこのアンケートを配るのか意見を伺いたいと思う。

委員 ・ 乙障協に全ての事業所が加入しているわけではないが、乙障協等に声かけをするのがひとつ

あると思う。

委員 ・口腔ケアに携わる施設の方に答えていただきたいと思っている。

委員 ・生活介護のところは口腔ケアを取り入れていると思う。

副委員長・乙障協になると大人の方の生活介護、就労A型、就労B型になる。あとは乙訓圏域児童通所支援事業所連絡会もある。

委員 ・質問内容の中に「現在貴施設において主にどなたが口腔ケアを行っておられますか。」とある。行っていることが前提なので、口腔ケアを行っていない施設には必要がない。

副委員長・事業を複数されているところもある。複数、回答ができるのだろうか。

委員 ・一番最初に事業所の名前を書くところがある。事業所ごとに答えてもらえればと思う。

副委員長・乙障協、乙訓圏域児童通所支援事業所連絡会まで声をかけるのか、口腔ケアを行っている事業所に答えてもらう形で全部に配るのか。

委員 ・「貴施設で口腔ケアを行っていないければ回答はしなくても良いです。」等の一文を付けて、全部に配っても良い。

副委員長・重心の方のデイだとおやつ後に口腔ケアをされていると思う。

委員 ・少人数のところでは施設の職員だけで足りているのであれば、そういう回答でも良いと思う。そういうところもあるという認識ができる。歯科衛生士が行ってきれいにすることだけが現実的ではないので、職員の方にこうすればもっときれいにできる、この人にはこうすれば良いという個別相談が入れば、すごくきれいになっていくと思う。施設が多くなれば、職員への周知がメインになると思う。そこにいる職員が労力なくできるように持っていければ良いと思う。

委員 ・口腔ケアの必要性としては全員にあると思う。それが事業所の中で、できる体制なのか、できない体制なのかがあると思う。広域にということではないが、可能な限り全部に聞いてみても良いと思っている。ただ、あまり聞きすぎても、それに伴って動けなければ意味がない。重心のデイ等は食事やおやつがあり、口腔ケアがきっちりと位置付けられている。それを職員にどう指導していくのかも重要になってくる。それも含めると可能な限り広くアンケートに答えていただきたいと思う。重心だけでなく訪デイの子ども達、発達障害の子どもは偏食があったり、歯磨きどころか日常のこともままならないところがある。親御さんは口腔ケアに困っておられる。その点でも何か活動ができればと思っている。

委員 ・生活の場で言うとグループホームも該当してくる。

事務局 ・乙訓圏域児童通所支援事業所連絡会、乙障協、乙障協に入っていない事業所で全部網羅されるだろうか。

委員 ・この圏域外の生活介護や就労に行かれている方も結構おられる。歯の問題は大変で、支援員ではできない方や口を開けるのが苦手な方等問題はたくさんある。とりあえずは圏域内の乙障協や乙障協に加盟されていない事業所、通所支援事業所連絡会に配れば良いと思う。

事務局 ・グループホームはどうしたら良いだろうか。

副委員長・入所も含めて圏域内のところで配らせてもらう。

委員　・アンケートに依頼文を付けるのであれば、該当する事業の例をあげておけば記入した方が良
いかわかると思う。案内はどういう形で出すのだろうか。

副委員長・なるべくメールで送りたいと思っている。

委員　・中身に関してはどうだろうか。前半の検診と口腔ケアの話は別の話である。検診は歯科医師会
絡みの話になってくる。情報として吸い上げて、できるかどうかは別として、知りたいというと
ころで出している。その後の口腔ケアはまた別の話になる。別のことがひとつのアンケートの中
に混じっているが、カテゴリーとしては歯科のことなので一緒にさせてもらった。

副委員長・中身に関しての意見がある方は今出していただければと思う。

委員　・歯科検診についてと口腔ケアについてが2本柱であるなら、並べるのではなく、最初に「貴施
設における歯科検診について」、その後に「口腔ケアについて」と分けて、見やすい形にした方
が良いように思う。

副委員長・では、そのような形で進めさせていただく。次のワーキングチームが9月12日にある。

それまでに、何か意見等があれば事務局までお願いしたいと思う。

委員長　・他に何か意見等はあるだろうか。なければ、本日はありがとうございました。ご苦勞様でした。

次回 10月19日(木) 13時30分から 乙訓保健所 講堂